

「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2013年 6月 1日(土) 10時 00分～15時 00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員/ 9名、事務局/ 0名 計 9名 (午後 8名)

● 午前

今年は、例年より10日も早く、5月28日に近畿地方が梅雨入りしました。その影響で曇り空の1日でしたが、9名の参加者が集まりました。

まず朝のミーティングで、川島さんからエコウイングあかしの総会の報告や、今後予定されている海岸ウォーク、植生調査、中学生のトライやるウィークなどについて説明がありました。

今日の作業は、最初にこれまで整備した「遊歩道」を全員で歩いて、危険な枯れ木などを見つけて伐採しました。その後、遊歩道の三期工事に着手しました。先ず、ルートの確認をし、ルート上の徐伐などを始めました。

三期工事の遊歩道のルートを確認するメンバー



遊歩道造りの作業風景



● 午後

午後はメンバーが1人減りましたが、二手に分かれて3名が遊歩道作りを続け、5名は夏草の刈り払いをし、ゴマダラチョウなどの幼虫の成育を助けるために、食草の大きなエノキの周りを整備しました。作業後に、エノキの下でチョウの翅を見つけました。白と黒の模様からゴマダラチョウの翅であることが分かりました。ここから、たくさんチョウが育って欲しいと思います。

整備が済んだエノキの下の様子



整備後にエノキの下で見つけたゴマダラチョウの翅



- 次回 : 7月 6日(土) 10時から定例活動の予定です。
- 6月15日(土)には、「エコウイングあかし海岸観察会」を開催します。
- 7月31日(水)には、金ヶ崎公園で植生調査を実施します。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

6月になり、公園内の木々は葉を茂らせ、野鳥の観察・撮影が難しくなりました。今日観察できた野鳥は、鳴き声だけを聞いたものを含め、ツバメ、スズメ、ヒヨドリ、ムクドリ、ホオジロ、シジュウカラ、キビタキ、ハクセキレイ、トビ、ハシブトガラス、キジバト、アオサギ、ウグイス、エナガの14種類です。エナガは、今年生まれた幼鳥も観察されました。撮影できたのは、エナガの幼鳥だけでした。

昆虫では、アカシジミやヒメジャノメ、ホシミスジなどのチョウの仲間や、ゾウムシ、ヒメオビオオキノコムシ、テントウムシなどが姿を見せてくれました。名前は分かりませんが、青く光る美しい昆虫も観察しました。去年の6月2日の活動の日には、ホシミスジが100羽ほど乱舞していましたが、今日は数羽だけでした。

エナガの幼鳥



アカシジミ



ヒメジャノメ



ホシミスジ



ゾウムシのペア



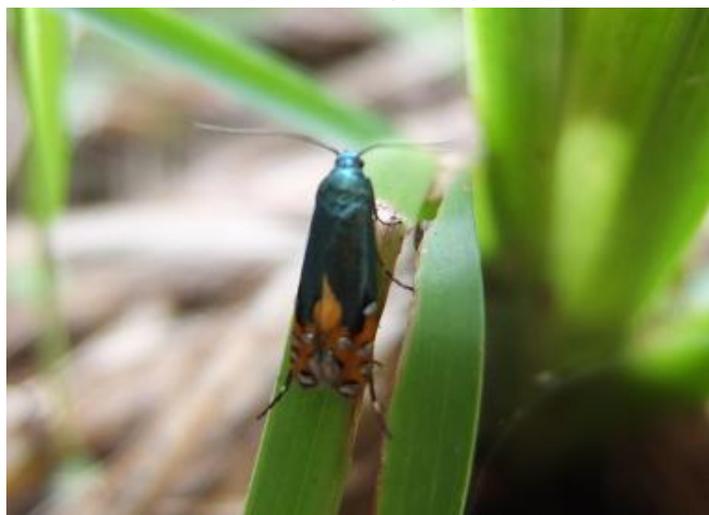
ヒメオオキノコムシ



テントウムシ



名前不明の青く美しい昆虫



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

植物では、スイレンやコウホネなどの水辺の花が咲いていました。ユキノシタやコナスビ、ヤマボウシ、スイカズラなども咲いていました。アケビの若い実やコナラの小さなどんぐりも観察できました。

その他の生物では、アマガエルやトノサマガエルが姿を見せました。去年の6月の活動と同様に、小さな黒いへびも這い出してきました。ヤマカガシの赤ちゃんではないかと思われます。

スイレン



コウホネ



ユキノシタの花



ヤマボウシの花



スイカズラの花



トキワツユクサ



コナスビ



アケビの若い実



コナラの小さなどんぐり



アマガエル



トノサマガエル



小さなへび。ヤマカガシの赤ちゃん？

